

令和5年度上天草市青少年人材育成海外派遣事業研修に参加して

山崎さん体験レポート（派遣時：中学1年生）

(1) 参加して印象に残ったことイベント等

- ・グループのメンバーの年齢はバラバラだったけど、みんな下の名前で呼び合った。先輩後輩関係なく、フレンドリーになれた。
- ・ウェルカムパーティーのメインディッシュとサイドディッシュは各ホストファミリーが持ち寄ってくれたけど、量の多さに驚いた。僕のホストファミリーは日本のポテトサラダを作って持ってきてくれた。優しさが嬉しかった。
- ・社会見学でポートオーチャード市役所を訪問した。市長はポロシャツにチノパンでカジュアルな恰好をしていた。日本のお菓子や折り紙をプレゼントしてとても喜んで頂いた。市役所内を回りながら議会の流れの説明を受けた。市の為に、様々なことを話し合うそうだ。アメリカ国旗の旗の他に、州の旗や軍の旗を設置していた。
- ・終日研修で「シアトル」へ行った。シアトルへ向かうバスの中で、コーヒーで有名なマウントレーニア、Amazonの本社、コストコの本社、スターバックスの本社など有名なものばかり見ることが出来た。最近では、テイラースウィフトのコンサートがメインフィールドであり、音響と声援により2.3マグニチュードの地震が起こったそうだ。  
シアトルを代表する観光地の1つで、全米で最も歴史の古いマーケット「Pike Place Market」へ行った。様々なお店やレストランが地上と地下にあり、とても人が多かった。ここにはガムウォールといって、たくさんの人たちが噛んだ後のチューイングガムを壁に貼り付け、建物の壁がガムだらけになっているスポットがあって、僕もガムを貼り付けて帰ってきた。  
スターバックスの1号店で記念写真を撮った。すごい行列で2～3時間待ちだそうだ。
- ・「The Museum of Flight」というとても広い飛行機の博物館に行った。滑走路がある外ではBlue Anglesというアメリカ海軍のアクロバット飛行機ショーの練習を見ることが出来た。ライト兄弟時代からの飛行機からロケットまで飛行機の歴史が展示してあった。貴重な大型飛行機も展示されていて、中に入ることもできた。戦争などで、たくさんの犠牲があった飛行機もあるんだな、と思った。日本とアメリカは敗戦国と勝戦国だけど、悲しい思いは同じだから、戦争のない世界になってほしい。
- ・文化交流会で、アメリカの軍隊を退役した方が住んでいる老人ホームへ行った。折り紙を折ったり、話をしたりして過ごした。いきなり「私は、元軍人です」と日本語で話しかけられ、驚いたが、嬉しかった。
- ・ホストファミリーと過ごした3回の週末。色んなところへ連れて行ってもらった。1週目は「シアトル」に連れて行ってもらった。観光名所のスペースニードルに登った。タワーの中の透明な床の上に立ったのが怖かった。とても都会だと思った。2週目は、シアトル近郊のレドモンドという街にあるMicrosoft本社へ行った。入場するのに、登録が必要で名前入りのカードをもらって中に入った。超巨大な施設で、施設内をマイクロソフトカーという無料で乗れるタクシーが周っていた。博物館のような施設に入った。パソコンの歴史から最新の機械やサービスが展示されていた。敷地内のジュースなどは飲み放題だった。(コカ・コーラの缶など)

3週日はレーニア山に登った。モノレールに乗って楽しかった。空気が澄んで景色が綺麗だった。日本でよく売っているコーヒーのパッケージになるくらい有名な山みたいだ。それから、ホストファミリーのいとこの家に招待してもらいランチを食べた。犬をたくさん飼っていて、よくしつけられている事に驚いた。

ホストファミリーのおばあちゃんの高級車（テスラ）に乗せてもらって嬉しかった。

- ・さよならパーティーでは会場のデコレーションをしたり、ホストファミリーへ手作りのギフトや Thank you カードを渡したりした。空手やけん玉を披露する友達もいた。僕は習字でホストファミリーのリクエストの文字を漢字で書いたりした。とても喜んでもらった。

さよならの一言スピーチは少し緊張したけど「I Like Host Family. Good Bye」と言った。

英語がもっと話せたら、もっと感謝の気持ちを伝えられるのにと、少し悔しかった。

## (2) 日本とアメリカの違い

- ・どこもお店の店員さんがとてもフレンドリーに接してくれる。
- ・ペットを飼っている家庭が多く感じる。
- ・日本のアニメは海外で人気。(ポケモン・鬼滅の刃・ドラゴンボール・ワンピースなど)
- ・車社会のアメリカでは長距離移動は一般的だそうだ。交通事故も多い。
- ・食べ物の量が多い。ドーナツやハンバーガーなどとても大きい。映画館で頼んだポップコーンやドリンクも大きくて、友達をシェアしてやっとなら食べることができた。
- ・アメリカではマスク姿の人はほとんどいなかったが、アメリカのセブンイレブンには、飛沫防止の透明なシートが設置されていた。日本のコンビニだからかな、と思った。
- ・スクールで日本とアメリカの仕事の違いについて学んだ。日本の労働時間はアメリカと比べてとても長いみたいだ。僕がステイしていたポートオーチャードには、海軍の造船所で働いている家族が多く、4~5時から仕事を始めて2~3時には帰宅するそうだ。僕のホストファザーは、電気技術者で、毎日1時間かけてシアトルまで通っている。
- ・シアトルのスペースニードルは高さ184メートル。すごく高く見えたけど、東京タワーは333メートル、東京スカイツリーは634メートルで世界一の高さだそうだ。
- ・文化交流会でアメリカの保育園に行った。僕には4歳の妹がいるけど、アメリカの子どもも日本の子どもも無邪気で元気がよくて同じだな、と思った。

## (3) 体験をもとに上天草市（地域や学校）で活かしたいこと

- ・何に対してもポジティブにとらえること、自分の思いはアピールして伝えようとしないと伝わらないということ。チャレンジ精神や忍耐力を今後の地域生活や学校生活に活かしたいと思う。僕に貴重な経験をさせてくれた上天草市と家族に感謝の気持ちを忘れず、僕を受け入れてくれたアメリカの家族から学んだ優しさを皆に伝えたいと思う。

## (4) 上天草市からの宿題（上天草市のPR内容）

- ・上天草市の観光MAP（英語版）などをクラスで紹介したり、ホストファミリーと一緒に見た。帰国後、ホストファミリーへ「ぜひ、上天草に来てください、と手紙を書いた。海がきれいで、魚が美味しいこと、イルカが見れるかもしれない！」と英語で書いた。

「Please come visit us in Japan. We live in Kamiamakusa City, a rural area with a beautiful Ocean. You can also see dolphins.」